

議会だより

あまが丘



意見交換会を開催しました

2~3

令和2年度 当初予算の中身を質す

4~5

一般質問

10~18

「GIGA (ギガ) スクール構想 今後のICT環境の整備計画は」

「高齢ドライバーの交通事故防止 後付け安全運転支援装置の設置補助を」

「豊かな財政力を住民のために 教員事務補助員の配置検討を」

ほか



大口町議会
ホームページ

No.224

令和2年5月22日

発行：愛知県大口町議会

意見交換会を開催

令和2年2月、総務建設常任委員会及び文教福祉常任委員会は、それぞれの委員会が所管する分野から選んだテーマのほか、共通テーマとして議員定数と報酬について、住民の皆さんとの意見交換会を開催いたしました。

短い時間ではありましたが、参加者の皆さんから貴重なご意見をいただくことができましたので、その一部をご紹介します。

総務建設常任委員会

開催日時

2月8日 土曜日

午前9時30分～

午前11時40分

会場

秋田学習等共同利用施設

参加人数 8人

テーマ

第1部 交通安全

第2部 議員定数と報酬

文教福祉常任委員会

開催日時

2月15日 土曜日

午後1時30分～

午後3時30分

会場

上小口学習等供用施設

参加人数 14人

テーマ

第1部 子育て支援

高齡者福祉

第2部 議員定数と報酬



活発な意見交換が行われました

参加者からのご意見、ご要望は両委員会で検討のうえ、町執行部へもお伝えして回答をいただきました。その一部をご紹介します。

また、議員定数と報酬に関するご意見については、今後検討する際の参考にさせていただきます。

交通安全

意見 南小の通学路にグリーンベルトをひいてほしい。

回答 南小学校区では、元年度に2か所施工。今後は地元の要望を聞きながら、公安委員会との調整や関係機関にも働きかけながら、子どもたちの安全確保に繋がるよう、より効果的な交通安全対策を実施していきたい。

意見 青色パトロール車は、各行政区に1台配置してほしい。

回答 青色パトロール車の活動はボランティア活動であるので、各団体で車が不足している場合は時間的な制限があるが、公用車の貸し出しを行っているので、ご利用いただきたい。

【その他意見・要望】

・秋田グラウンド東側の交差点に信号機を設置してほしい。
・児童の登下校を見守る活動をする後継者が欲しい。



貸出しにも対応した青色パトロール車

子育て支援
意見 ドアノッキング事業は、民生・児童委員による家庭訪問ではなく、乳幼児健診の際に同席してはどうか。

回答 地域で子育てを見守る目的で家庭訪問を実施。これは家庭での子育ての様子を知ること、身近な相談者として支援できる機会をつくるためであり、健診の機会に限定しない方がよいと考えている。

意見 放課後児童クラブのおやつ提供が4月以降廃止されるとの通知があったが、おやつは食事で足りないエネルギーを補うほか、友達と楽しく食べて気分転換等をするのに必要と思うので、おやつ提供は継続してほしい。

回答 児童のし好の多様化やアレルギー児の増加で廃止としたが、再検討した結果、家庭からの持ち込みで対応する。

【その他意見・要望】

・ドアノッキング事業は民生委員さんが知っている人だと安心して話ができる。

・沐浴みぎよくの仕方、オムツの替え方勉強会をやってほしい。

・コミュニティワークセンターでベビシッターができるようにしてほしい。

・学校の下校時刻が早くなっているから元に戻してほしい。

・南小は始業時にチャイムを使してほしい。



町内小学校は自ら考え行動できる子を育てることを目標にノーチャイムに取り組んでいます

高齢者福祉

意見

介護認定・判定の基準がよくわからないのもっとわかりやすい説明書を作成してほしい。

回答

要支援・要介護認定については、全国一律の基準に基づき、統一された研修を受講した認定調査員が、対象者のご自宅や入院先等を訪問し、ご家族等その方の状況をよく知っている方の立ち会いのもと、認定調査を実施している。

判定基準に関する説明書は作成していないが、調査時に、ご本人やご家族の状況に合った方法で、認定調査の基本的事項や手順に加え、介護保険制度を丁寧に説明している。

【その他意見・要望】

・特別養護老人ホームの費用の違いは何か。
・介護問題をもっと全町的に取り上げてほしい。

議員定数と報酬

・議長の諮問内容や検討結果を住民に知らせてほしい。

・全国町村議長会が考える議員報酬算定の手順について議会ではどのように考えているのか。
・議員で決めればよい。
・報酬は第三者委員会を作って審議してほしいか。

議会ホームページに意見交換会の報告書を掲載しています。紙面で紹介できなかったご意見・ご要望はこちらをご覧ください。



<https://www.town.oguchi.lg.jp/4797.htm>

3月議会で決まった主な内容など

3月定例会を3月2日から30日までの29日間の会期で開催しました。

○町提出(27議案) 2年度一般会計予算等

採決の結果

【全会一致で可決】元年度一般会計補正予算(第9号)ほか19議案

【賛成多数で可決】2年度一般会計予算ほか6議案

※賛否の分かれた議案の詳細については、8ページをご覧ください。

○議員提出(1議案)

採決の結果

【全会一致で可決】新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書提出

○委員会提出議案(1議案)

採決の結果

【全会一致で可決】大口町議会委員会条例の一部改正について

○請願 審議の結果 【採択】1件 【不採択】1件

一般質問は9人の議員が町政全般にわたり質問しました。

当初予算の中身を質す

一般会計予算94億円(対前年1億円増) 特別会計46億6千万円(対前年2千万円減)

一般会計

一 総務費

松江市姉妹都市提携事業

堀尾吉晴公の共同研究の進み具合は。

答 3つのチームで作業を進めており、城郭チームは担当部分の執筆が終了し3月中に再読み合わせ、文献チームは古文書の翻刻が終わり、今後体裁を整える。また、石造物チームは1月に執筆が完了している。

2年度に研究報告書執筆者による報告会を実施する予定。

※翻刻：写本・版本等を原本どおりに活字に組む等して新たに出版すること。



本町にもゆかりのある松江城。訪れたことのない方はぜひ

地域自治推進事業

3つの地域自治組織の予算配分基準は。

答 運営事業費として、各地域の運営費や、事務員の人件費、事務所の光熱水費等に加え、地域づくり事業分として地域独自で行う事業に対して50万円を上限に配分している。

一 衛生費

感染症等予防事業

風しん抗体検査のクーポン券配布対象者数、利用数、及びワクチン接種者の実績は。また、2年度の配布予定は何人。

答 昭和47年4月2日から54年4月1日生まれの1359人に配布し、1月末で402人が利用。そのうちワクチン接種者は84人。2年度は昭和37年4月2日から47年4月1日までの方のほか、元年度に受けていないと考えられる方の1955人に発送予定。

予防費全般

2年度の予防費には何があるのか。

答 感染症予防では風しん抗体検査のほか、2年10月から乳幼児対象の予防接種でロタウイルスが加わる。また、がん検診の周知啓発の徹底に努めて集団検診から個別検診への移行、若い世代からの生活習慣病予防対策で20から39歳までの健診も集団から個別へ移行する。このほか、口腔関係の健診、予防啓発にも重点的に取り組む。

新型コロナウイルス対策関係の取り組みは。

答 新型コロナウイルス対策は、国の動きや感染者の状況等を速やかに察知し、対策本部会議等で後手後手に回らないような対応をするとともに、ホームページ等で情報を周知していきたい。

検診結果を受けてのフォローアップはどのようになっているのか。

答 がん検診では個別検診に移行することで身近なところで検診を受けてもらい、医師の指導により精密検査を受けることで早期発見、早期治療につながる体制を整えたい。

一 商工費

商工業振興事業

2年度予算には新型コロナウイルス関連の経済対策が盛り込まれていないが、今後協議する予定はあるのか。

答 2年度と言わず元年度から対応できるように検討中。補正予算が間に合わない状況であるため予備費で対応することも検討している。

【土 木 費】

道路維持管理事業

問 道路維持工事の内訳はどのようなになっているのか。

答 大きく5つに分かれ、①町内全域の路面補修工事や区画線の工事、②余野四丁目の舗装工事、③城屋敷二丁目の側溝工事、④幼稚園・保育園の散歩で利用する道路の安全対策工事、⑤各区からの要望工事となっている。



側溝整備が予定されている③城屋敷二丁目の町道

【教 育 費】

学校教育管理事業

問 2年度、愛知県はスクールソーシャルワーカー設置事業費というのを少し増額している。

答 予算説明書の中にそれらしきものが見当たらないが、本町でもそういった人材を登用する考えはあるのか。

答 昨年11月から雇用しており、2年度も引き続き雇用する。予算は会計年度任用職員の項目に含まれている。



公園整備が予定されている役場南側の水田

公園整備事業

問 公有財産購入費約1億6千万円の財源は公債ではなく基金となっている。数十年先の将来の住民も利用するので、基金よりも借り入れのほうがふさわしいと思うが。

答 土地の利用方法について、公園や空地、災害時の避難場所というような案を検討する中で地権者との交渉がスムーズにまとまり、借り入れのための用途等を定めることができなかった。このため、緊急的なものとして財政調整基金を充てることとした。

特別会計

国際交流事業

問 コロナウイルスに関連し、海外派遣事業はこれからのような対応をとるのか。

答 延期ということも検討したが、国際交流推進委員会での検討結果等を踏まえて中止とする。

国民健康保険

問 特定健診受診率向上事業の内容について、今後の方針、向上させるための取り組みは。

答 平成30年度から民間事業者へ人工知能分析を委託し、対象者別に案内を送付したところ受診率が向上した。2年度も引き続き同様の取り組みを行う。その一方で保健指導の受診率が伸び悩んでいるため、こちらも向上させたい。

第3回大口町議会臨時会を開催
(3月31日)

新型コロナウイルス対策関連予算を盛り込んだ元年度一般会計補正予算(第11号)のほか、2議案を全会一致で可決しました。

【町提出3議案】

- 元年度大口町一般会計補正予算(第11号) 公共施設の指定管理者への休業補償等を計上
- 大口町国民健康保険税条例の一部改正について 保険税負担の公平性の確保及び低所得者層の負担軽減を図るための改正
- 柿野橋架替工事(下部工)請負契約の変更について 契約金額及び工期の変更

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

町長等の損害賠償の上限を定める条例

住民訴訟の結果、町が町長等職員個人に損害賠償を求めるとき、その要因となった職務の遂行にあたり善意かつ重大な過失がない場合、一定額を超過する金額を免除できるようにする条例。

問 町長の賠償責任の上限を6年までとするようだが、これは議会で徹底して審議する内容ではないか。

答 国が法律を制定し、職責に応じた基準が示された。今回は、その基準に沿って定めたもの。

税条例の一部改正

令和3年度より固定資産税の前納報奨金を廃止するもの。

問 法人町民税の税率引下げで収入が減る一方で、社会保障関連費用は増加して支出が増えるところ、税収の今後の見通しは。

答 法人町民税法人税割を10億円と仮定すると、6億円ほど下がる計算。

国保条例の一部改正

将来に渡って安定した制度を目指すため、被保険者の過度な負担にならないよう配慮したうえで必要な税率等の改正を行う。

問 県の算定で本町は医療費及び所得の水準が高いという評価だが、国保利用者にはその実感がないうと思う。そのあたりの見解は。

答 本町はコミュニティバスが医療機関にとまる等医療を受けやすい環境にあり、医療費を使えば納めていただくものも当然発生する。また、所得水準は過去3年間の平均を被保険者数で割戻すので、小さな町では高所得者の加入や一時所得等により平均値が上がる要因となる。

補正予算

一般会計(第11号)

一 町 税 一

問 法人町民税約2億円の増額理由は。

答 高額納税法人で約1億8千万円増えたのが主な要因。

問 教育費国庫補助金、歳出のGIGAスクールネットワークとの関連は。

答 昨年12月に閣議決定されたGIGAスクール構想に基づくもので、元年度補正予算を計上し、2年度に繰越して事業を行う。今回の補助金は高速通信設備整備のためのものに整備するもの。

国民健康保険特別会計(第3号)

問 県支出金の保険給付費交付金減額の理由は。

答 町内医療機関の誤請求による返還分があり、その分が差し引かれたため。

定例会で賛否の分かれた議案

○=賛成 ×=反対

議案名	吉田	江幡	佐名	近藤	江口	船戸	酒井	岡	鈴木	大竹	伊藤	丹羽孝	丹羽勉	齊木	倉知
① 町長等の損害賠償の上限を定める条例の制定について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
② 税条例の一部改正について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
③ 国民健康保険税条例の一部改正について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
④ 令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑤ 2年度 一般会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑥ 2年度 国民健康保険特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
⑦ 2年度 後期高齢者医療特別会計予算	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

※議長は採決に加わらないため空欄

賛否が分かれた議案の討論要旨は次のとおりです

① 町長等の損害賠償上限を定める条例の制定

反対討論 吉田 正

町長の賠償責任の上限を条例で定めることについては議論が必要。議会の良識的議論と判断で、町長の賠償責任を決めることは、住民にも理解が得られると思う。町長の賠償責任をあらかじめ決めることは、議会の良識を信用していないことになる。

賛成討論 大竹伸一

職務遂行中、法解釈の違い等によって生じた損害責任額の設定するもの。職務遂行にあたる職員を萎縮させてはならない。国の基準によって定めるものである。

② 税条例一部改正

反対討論 吉田 正

前納報奨金は、近隣市町が廃止する中、存続こそ本町の特徴をアピールできる施策。廃止理由を財政難にしているが、固定資産税の納付率が99%というのは、この制度の賜物ではないか。納付率が1%下がる3千万円減収するならば、報奨金を2千6百万円使った方がよい。

賛成討論 大竹伸一

法人町民税の大幅な減収が押し迫っている中で対応。他市町の例では廃止による影響は軽微であるとのこと。この改正は健全な行政運営を守る処置の一環であり必要なもの。

③ 国保税条例一部改正

反対討論 江幡満世志

平成30年度から運営主体が県に変わり制度が大きく変化。被保険者の負担を増やさないように努力した町も国や県の方針に従い、値上げすることになった。被保険者の負担を増やすことは地方自治体の本旨ではない。被保険者と町の双方に不利益な制度。

賛成討論 江口昌史

本町は過去数年税率を据え置いたため、医療費に対して不足している状況。30年度より急激な負担増にならないよう段階的に税率改正している。今後、医療の高度化や被保険者の増加が予想され、安定した国保運営のために、ある程度の負担はやむを得ない。

④ 元年度 国保特会補正予算(第3号)

反対討論 江幡満世志

県は町内医療機関の誤請求返還金相当分を交付金から減額。誤請求は運営主体が県に移る前のものだから納得できない。県の対応に従うことになったのが残念。

賛成討論 江口昌史

今回の返還分の医療費は30年度に国保運営の都道府県化がされる以前のものであるが、制度的にやむを得ないもの。元年度の給付実績額は返還された分が減額となるため、2年度の納付金に反映され、保険税にも反映されることになると思われる。

⑤2年度 一般会計予算

反対討論 吉田 正

法人町民税が大幅に減少するが道路建設等の新規事業が2年度も多い。後世の人も利用する建設事業等は財源に借金を活用することも必要。

新規事業で福祉や医療関係等が見当たらない。他市町では医療費無償化の対象を拡充等している。福利厚生分野でも他市町に負けないよう制度の充実を。

賛成討論 大竹伸一

法人町民税が減収となり、厳しい財政運営が強いられるが、経常経費を抑えて財源を捻出し、安心・安全、子育て支援、少子高齢化対策のための事業を新設する等、限られた予算で最大限の効果を生み出せるような予算となっている。

⑥2年度 国民健康保険 特別会計予算

反対討論 江幡満世志

被保険者の負担が増えることに反対。一般会計繰入金も赤字解消計画に基づいて年々減少させるようだが、被保険者の負担がますます増えると思う。地方自治体の本旨に則り、3年度以降は負担が減るようお願いしたい。

賛成討論 江口昌史

安定した国保運営のために税率改正は必要。基金取崩しや一般会計からの繰り入れなどで被保険者に対して一定の配慮がされている。

2年度も医療費適正化に向けた施策として、国補助金を利用した特定健診受診率向上事業が計上され実績もある。今後の事業展開に期待。

⑦2年度 後期高齢医療 特別会計予算

反対討論 江幡満世志

2年度、県広域連合は保険料を10%上げる。

75歳以上が加入する保険制度であり、年金生活者も多い。医療費負担も1割から2割へと値上げが検討される中、保険税の値上げ、軽減特例縮小、年金削減と負担は増加するばかり。住民の命と暮らしを破壊する制度改正に反対。

賛成討論 江口昌史

今回、被保険者の保険料の見直しがされるが、医療の高度化や被保険者の高齢化により、今後も医療費の増加が予想される。制度の持続可能性を確保するものであり、現役世代も含め負担の公平性から必要。

3月定例会に提出された2件の請願は、それぞれ所管の常任委員会で審査しました。

請願

介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての請願書

(不採択)

請願者

愛知自治体キャラバン

実行委員会

代表者 森谷光夫

紹介議員

吉田 正・江幡満世志

不登校重大事態として大口町いじめ問題対策委員会の設置及び学校事故調査委員会の設置に関する請願書

(採択)

請願者

稲垣 学

紹介議員

江口昌史

1件の意見書を国へ提出することについて審議した結果、全員賛成で可決しました。

意見書提出

新型コロナウイルス感染症対策の強化等を求める意見書

要望事項の概要

- ①空港等での検疫体制強化の徹底
- ②早急なワクチンの開発・製造及び治療法の確立。マスク等医療物資の必要量確保
- ③感染状況や対策の迅速・正確な情報提供
- ④中小企業等の支援や雇用対策などの支援
- ⑤学校休業の影響を最小限にする適切な支援策を講ずること
- ⑥地方自治体が実施する対策への財政支援

過去の請願・陳情の審査結果等はこちらをご覧ください。

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2744.htm>

大口町ホームページ ⇒ 町議会 ⇒ 請願、陳情一覧



町政を問う

9議員が質問

ここが聞きたい!

YouTube
公式チャンネル
「議会大口町」



「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

江口昌史	おおぐち健康マイレージ ポイント制度を拡充し参加者の増加を … P10 GIGA(ギガ)スクール構想 今後のICT環境の整備計画は
伊藤 浩	小学校新学習指導要領 改訂に向けた準備は大丈夫か … P11 町の魅力発信 大口ブランドを開発する考えは
丹羽 孝	不交付団体を維持するための方針は … P12 子や親が安全に遊べる環境整備を
酒井正宗	多文化共生サポート事業 外国籍の子どもに日本語教室を … P13 町道小口線整備 工事の着手予定は
佐名かよ子	持続可能な開発目標(SDGs) 本町はどのように取り組むのか … P14 児童生徒の荷物軽減対策 現状は保護者に伝わっているのか
丹羽 勉	鈴木町政の行財政改革 有能な人材確保に向け定年退職特例は … P15 高齢ドライバーの交通事故防止 後付け安全運転支援装置の設置補助を
江幡満世志	国保運営 国の方針は地方自治の本旨と乖離 … P16 本町の地球温暖化対策の取り組みは
吉田 正	豊かな財政力を住民のために 教員事務補助員の配置検討を … P17
岡 孝夫	シティプロモーション 第2期アクションプランへの取り組みは … P18 使用済み小型二次電池の回収を

追 跡

1年前の一般質問から

あれから どうなった?

議会だよりでは、1年前の一般質問から2題を選び、あれからどうなったかを調査しました。

町内保育園に防犯カメラの設置を

江口昌史

問 中保育園と北保育園には防犯カメラが設置されている。西保育園と南保育園への設置予定は。

答 西保育園は増築工事に合わせて設置し、南保育園は31年度予算で対応予定。

南保育園の設置は完了したが、西保育園は2年度中の設置を予定している。

質問者の満足度



にっこり

今後も安心して子どもを預けられる取り組みをお願いします。

避難所運営マニュアルの作成を

船戸光夫

問 地域自治組織にも避難所運営マニュアル作成に係わってもらい、一般避難所の運営を担ってもらっては。

答 防災を自らの課題と捉え自発的に取組む地域自治組織等もあり、町も一緒になって取り組んでいる。これらを繰り返す中で、将来的にマニュアルの作成につながるかと考えている。

防災イベント等を主体的に実施する地域自治組織もあり、防災を自らの課題とした機運の醸成が図られていると感じている。今後、避難所運営マニュアルの作成や避難所運営に向けて地域自治組織等の皆さんとも話をしながら進めていきたい。

質問者の満足度



がんばれ

避難所運営マニュアルの作成は行政の力添えが必要。避難所運営は、災害時の連携が不可欠です。今後の進展に期待します。

こうなった

平成31年3月議会

おおくち健康マイレージポイント制度を拡充し参加者の増加を

部長 高額景品は事業趣旨にそぐわない



令和2年3月定例会
一般質問(江口議員)

問 現在のポイント制度に加えて、町民体育祭等の町内イベントや、各地域自治組織が企画する事業にも対象を広げ、それらの合計ポイントによる抽選で旅行券等をプレゼントし、参加者を増やす取り組みをしてはどうか。

健康福祉部長 健康に無関心な人にも

関心を持ってもらうきっかけになると思っているので、ポイント制度の拡充については検討したい。しかし、高額景品は、本事業の趣旨にそぐわない。事業継続性の面からも適当ではないと考える。



協力施設等にて各種優待サービスを受けることができます

問 豊橋市や知多市等では本事業でスマートフォン等を活用し、ポイント記録から提出まで簡単にでき、気軽に参加できる。また、歩数、食事、体重等も記録でき、自分の取組結果を簡単に確認できる。今後、幅広い年代の人が利用するための一つの手段としてICT機器を活用する考えは。

健康福祉部長 2年度に県スマートフォンアプリを使った事業に参加する。3年度からは参加市町村で費用を負担することになるため、若い世代から健康づくりのきっかけとして効果的かどうかを、利用状況をみて検討する。

GIGA (ギガ) スクール構想

今後のICT環境の整備計画は

部長 国の構想に合わせ順次整備

問 国は5年度までに全小中学校の児童生徒に1人1台のパソコンまたはタブレット端末を導入し、校内に高速通信設備を整備するための補助金を創設することだが、本町のICT環境整備の現状はどのようなか。

生涯教育部長 児童生徒用パソコンは、小中学校全体で1台につき5・39人、整備率は18・6%。ネットワーク環境は、各小中学校とも教室等に有線LANが整備されている。一部の簡易なものを除き、無線LAN(Wi-Fi)は整備されていない。

問 本町の今後のICT環境の整備計画はどのようなか。

生涯教育部長 国の構想と同様に元年度から5年度までの5年間の整備を予定。まずは、ネットワーク環境を整備し、2年度から順次各学年に端末を配備する予定。

各学年へのタブレット等端末配備計画

年度	小学校(学年)	中学校(学年)
2	5・6	1
3	—	2・3
4	3・4	—
5	1・2	—



小学校新学習指導要領

改訂に向けた準備は大丈夫か

教育長 準備不足も否めないが着実に進めている



令和2年3月定例会
一般質問(伊藤議員)

問 本年4月に改訂される新学習指導要領の理念は何か。

派遣指導事 学んだことが子どもたちの「生きる力」となって、その先の人生につながってほしい。今後の社会変化が予測困難な時代になっても、自ら課題を見つけ、学び、考え、判断して行動し、個々が思い描く幸せを実現してほしい。そのような自分の人生を切り拓いていける力を身に付けることを重視している。

問 新学習指導要領の改訂に向けた準備は大丈夫か。

教育長 準備不足の部分もあると認識。英語科新設に関しては、始業式・終業式に給食を付けて1日とする等の対応で授業時数を確保。また、指導面では、専門教員の確保が困難な中、北小では町教委等の委嘱を受けて英語に特化した研究を進める。道徳は、内容面での変更はあるが、それほど心配はないと考える。プログラミング教育は、子どもたちに生きる力を培うための道具として、極めて重要なことであり、GIGAスクール構想の実現とともに最適な教育環境の整備に向けて一丸となって全力を尽くしたい。

町の魅力発信

大ロブランドを開発する考えは 部長 商工会に協力して開発を目指したい

問 地域ブランドの定義は何か。また、その戦略はどんなことをするのか。

産業建設部長 ある地域の特色を生かした商品等の開発、あるいは高付加価値化と地域そのもののイメージを結び付け、他地域と差別化された価値を生み出し、広く認知されることだと考える。

地域の事業者が協力し、当該地域と何らかの関連性をもつ商品の生産等を行い地域のイメージを高め、地域外からヒト・モノ・カネを呼び込み地域の活性化につなげるのが重要だと考える。

問 本町の地域ブランド候補、例えば食料品やお菓子はどんなものがあるのか。

産業建設部長 食料品では、守口漬け、桜酵母を使ったお酒、魚介味りん粕漬等がある。また、お菓子では桜酵母や町内産麦茶を活用したあられ、シエラート、町内産米粉や小麦粉を活用したブッセやサブレー等がある。

問 商工会の力を借り、大ロブランドを開発して、町の魅力発信の一助にする考えは。

産業建設部長 商工会には、現在も地域の特産品や町内産のものを活用した新商品の研究開発を続けていただいている。それらを地域ブランドとして活用できないかも含めて検討していただくとともに、町も協力し大ロブランドの開発を目指していきたい。



本町のふるさと納税返礼品にもなっている守口漬け

不交付団体を維持するための方針は

総務部長 固定資産税収の確保に重点



令和2年3月定例会
一般質問(丹羽 孝議員)

問 県内町村の普通交付税不交付団体は本町を含め5団体(表1)。不交付団体だからできた本町独自の事業は。

総務部長 温水プールの設置、巡回バスの運行、学校給食の給食費の半額補助等が町独自のものとして可能であった。

表1 令和元年度普通交付税不交付団体数

	全国		愛知県	
	不交付団体	総数	不交付団体	総数
市	50	792	15	38
町村	35	932	5	16
計	86	1,771	20	55

問 法人税収の減少や新型コロナウイルスの影響が懸念される。今後安定した財源を確保し、不交付団体を維持するための対策の方針は。

総務部長 既存企業の工場場の拡張や、農地として残すべきところは残しながら土地を活用して企業誘致を進めること等により、固定資産税を確保することで今の状態が続けばと考えている。

子や親が安全に遊べる環境整備を

産業建設部長 まずは既存の児童遊園を改善

問 上小口の子どもの数は町全体と比べると大幅に増加(表2)。想定以上の子どもの増加による地域の課題をどのように考えているか。

健康福祉部長 地域全体で子育てを支援するため、子育てしている人の交流の機会や相談できる場が必要。それぞれの連携を強化することで、きめ細やかな支援を継続し、より身近で利用しやすいものになるような施策を展開していきたい。

問 子どもが安全に遊べ、親子の地域交流の場として近場の児童遊園地や公園の整備を。

産業建設部長 2年度予算にて、上小口西児童遊園の防草対策、グラウンド部分の整地、大きくなった樹木の伐採を計画。

表2 町全体と子どもが急増した上小口地区の人口推移

年齢	平成27年 1月1日 (人)	令和2年 1月1日 (人)	増減率 (%)
大口町			
0~14	3,537	3,707	104.8
15~64	14,229	14,979	105.3
65~	4,974	5,505	110.7
合計	22,740	24,191	106.4
上小口地区			
0~14	234	418	178.6
15~64	1,076	1,246	115.8
65~	398	428	107.5
合計	1,708	2,092	122.5



多文化共生サポート事業

外国籍の子どもに日本語教室を

地域協働部長 どのようなかたちでできるか検討

問 町内在住の外国籍の人数と国籍の状況は。

健康福祉部長

2年1月1日現在の総数は664人で、うちベトナム193人、中国163人、ブラジル91人、フィリピン74人と4か国で約8割を占めている。

問 本町では、この5年間で外国籍の方が1.7倍に増えているが、その理由は。

健康福祉部長 在留資格を持つ方の7割が技能実習生。これは本町や近隣に製造業が多いためと思われる。

問 外国籍の子どもが増加傾向にあるので、日本語等や勉強を教える居場所づくりをソフト、ハードの両面から検討できないか。

地域協働部長 子どもを主体とした日本語教室の必要性を感じている。今年の1月、2月に日本語教室のためのボランティア講座を開催し10名の方が受講された。現在は、受講生のみならずと教室立ち上げの準備を進めているところ。教室は空き家を利用するという案も出ているが、様々な条件をクリアする必要があるのでは、まずは実現しそうな場所を検討したい。

町道小口線整備

工事の着手予定は

部長 条件が整えば3年度に着手できる

問 下小口三丁目から五条川に架かる樋田橋

までの区間の用地取得率、昨年度は55%とのことだったが、現在の状況は。

産業建設部長

現在の用地取得率は98%。残りについても地権者の方と交渉中。

問 工事は何年を目途に着手予定か。

産業建設部長

国の追加補正予算により、町道小口線に対しても配当があったことから、今定例会で補正予算を計上し、測量設計の発注準備を進める。順調に国の予算が確保でき、警察等の関係機関協議が整えば、3年度には一部工事に着手できる。

問 町道役場前線は、今後、どのようなスケジュールで整備されるのか。

産業建設部長

平成29年度に用地買収が完了し、30年度より国の交付金を活用しながら整備する予定だったが、国の交付金は国が進める施策への重点化が進み、思うような配分が得られず工事が進んでいない。

しかし、元年度の国の追加補正予算にてある程度の配分を受けることができたので、今定例会で補正予算を計上し、予算を繰り越して整備を進める。



令和2年3月定例会
一般質問（酒井議員）



ようやく国の交付金を受けることができ、整備が進められる町道役場前線の現在の様子

持続可能な開発目標(SDGs)

本町はどのように取り組むのか

部長 総合計画等に考え方を盛り込みたい



令和2年3月定例会
一般質問(佐名議員)

問 職員をSDGsのセミナーに参加させたり、職員向けの研修を議員を含めて開催できないか。

総務部長 関心の高まり、何らかの研修は必要と考えている。

例えば丹羽郡町村会・議長会の研修を2年に1回行っており、2年度はその年にあたる。2年度も本町が事務局を務めるので、これをテーマに研修ができないか考えてみる。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



2030年までに達成すべきとされた17の目標を示すアイコン

問 本町の取り組みと、今後SDGsをどのように活かして取り組んでいくのか。また、住民への周知はどのようにしていくのか。

総務部長 今、我々が担当している仕事がSDGsの17のゴールのどこにつながっているのか意識しながら普段の仕事をするのが大事と考えているところ。2年度は第7次総合計画の中間評価、見直し等を予定しているの、考え方を盛り込んでいきたい。また、住民への周知は町のホームページや広報紙等へマークを入れていけたらと考えている。

児童生徒の荷物軽減対策

現状は保護者に伝わっているのか

部長 積極的な周知は行っていない



様々な荷物を持って登校する児童たち

問 現在、荷物の軽減対策として具体的にどのようなことを実施しているのか。

生涯教育部長 どの学校も荷物を置いて帰ることに關して、基本的には児童生徒の自主性に任せている。ただし、授業に必要な用具等は早めに連絡して計画的に持ってこられるようにしたり、絵具等の連続で使用する機会のあるものについては持ち帰らなくてもよいように配慮している。

問 児童生徒の荷物軽減対策は、学校や学年クラスによって違いがあることが分かった。取り組んでいる軽減対策の現状は保護者に伝わっているのか。

生涯教育部長 積極的な周知は行っていないと思われる。その理由は、具体的な対策は、担任から直接、児童生徒への指導・指示によって行われているからである。



鈴木町政の行財政改革

有能な人材確保に向け定年退職特例は町長 運用について真剣に考えたい



令和2年3月定例会
一般質問(丹羽 勉議員)

一
般

質
問

丹
羽

勉

問 質の高い行政サービスを維持するために有能な人材を定年で送り出すことはない。本町には、条例で定年による退職の特例があるが、この特例運用についての考えは。

町長 特例があることは承知しているのですが、その運用をどうするかというのを2年度、真剣に考えてみたい。

問 本町の将来展望について町長の見解は。

町長 私に対して農業を軽んじているという声があるが、決して軽んじている訳ではない。農業を職としてみえる方もしくは兼業農家の方がどんどん減っている。農業を守るため大規模農家の育成に力を入れる必要があると考えている。できたものを加工し売ってくれるのは工場や商店。そこへ先進的なものを取り入れ、昔からあるシステムを再構築しながらやっていく。
残していくものの大切さを意識しつつ、職員や議員の皆さんと考えをすり合わせながらやっていきたい。

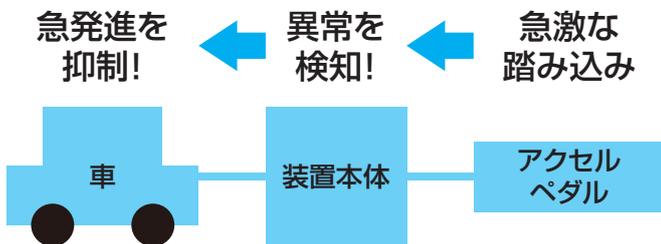
高齢ドライバーの交通事故防止

後付け安全運転支援装置の設置補助を

部長 国や県と歩調を合わせ前向きに検討

問 ブレーキとアクセルの踏み間違い防止のため、後付け安全運転支援装置の設置に対して補助はできないか。

地域協働部長 今年の1月に県から補助制度を設けるという連絡があった。
3年3月までの期間限定の制度ということもあるが、国や県と歩調を合わせながら、前向きに検討していきたい。



急激な踏み込み

異常を検知!

急発進を抑制!

アクセルペダル

装置本体

車

問 高齢者のサロン活動等で利用される運転ボランティアの仕組みづくりを支援する考えは。

地域協働部長 本町でも過去にボランティアを募って運行する事業に取り組んだこともあるが、事業を継続するにあたり担い手や費用負担の問題があって取りやめた経緯がある。
先進事例や社協とも相談しながら調査してみたい。

国保運営 国の方針は地方自治の本旨と乖離かいり

部長 持続可能な制度が住民福祉の増進に寄与



令和2年3月定例会
一般質問（江幡議員）

問 国は一般会計からの繰入金で国保運営の赤字補填くへんになるので段階的な廃止を求めているが、地方自治の本旨である住民福祉の増進と乖離した措置と思う。町の見解は。

健康福祉部長

国保制度が持続可能な制度として安定的に運営されることが住民福祉の増進に寄与すると考えている。

愛知県とともに、本町の被保険者の状況を把握し、医療費の適正化や収納率の向上に努める。また、税率も必要な見直しを適宜行う。

問 県支援金は特定健診や保健指導を受ける人が多いと金額に違いがあるようだが、具体的にどのようなものか。

健康福祉部長

特定保健指導の実施率では、①第二期特定健康診査等実施計画期間における目標値（60%）を達成すれば25点、④平成27年度の実績と比較し、実施率が3ポイント以上向上すれば25点で合わせて50点満点となる。

本町の地球温暖化対策の取り組みは

部長 主要施設に再生可能エネルギー導入等



役場屋上にも太陽光パネルが設置されています

問

猛暑や集中豪雨等、気候変動で異常気象が多発し、町内でも甚大な被害が発生した。本町では28年度に地球温暖化対策実施計画を作成しているが、どのような取り組みをしているのか。

産業建設部長

本町では町内の防災拠点となる主要施設において太陽光発電システムや蓄電池の導入を行った。また、元年度より一般住宅についても、太陽光発電システムに加え、蓄電池の設置に対しても補助を実施している。



豊かな財政力を住民のために 教員事務補助員の配置検討を

部長 専属配置ではなく業務見直しでの対応を検討



令和2年3月定例会
一般質問(吉田議員)

一
般

質
問

吉
田
正

問 教員の多忙化解消に向けて教員事務補助員の配置検討を。

生涯教育部長

元年度より小学校の学校支援委員の勤務時間を1時間延長し、教材の作成や印刷等を業務に組み入れ、教員の補助ができるようにしている。今後、専属で教員事務補助員の配置ではなく、業務内容の見直しを進める中で、事務補助についても検討していきたい。

問 養護教諭の役割も重要になってきている。1人しかない状況では、病気等で不在時には役割を果たせないのもう1人配置できないか。

生涯教育部長

中学校は病気やケガの他に心の悩み等で利用するケースもあるため、開校時から心のケアの面からも養護教諭を2人配置している。

小学校は学校生活での児童の補助を主軸に考えているため、医療面の補助はできないが、学校支援員を配置している。養護教諭の外出時や児童数の多い学校等、配置に課題があることも認識しているが、法と同一一定のルールに従うことが基本と考えている。

問 国の基準がこのままではいけないということなら、国に対して複数配置できるよう要望をあげてはどうか。

教育長

養護教諭の複数配置については切実な問題と認識。県の教育長会を通じて、県や全国町村教育長会の中で国に複数配置、もしくは基準の緩和を求めている。

町費で負担している教職員の状況(単位:人)

職種	事務員	用務員	図書館司書	配膳員	学校支援員	学校支援員(看護師)	小人数、 ティームティーチング	養護教諭	心の教室相談員	合計
南小	1	1	1	0	3	1	1	0	0	8
北小	0	1	1	2	5	0	1	0	0	10
西小	1	1	1	1	5	0	1	0	0	10
大中	1	1	1	2	0	0	3	1	1	10
合計	3	4	4	5	13	1	6	1	1	38

シティプロモーション

第2期アクションプランへの取り組みは

部長 町内企業の方にも町の魅力を発信していきたい



令和2年3月定例会
一般質問(岡議員)

問 第1期アクションプランを終えるにあたり、取り組んだ7つのアクションの成果は。

まちづくり部長 住民有志で「おおぐち宣伝部」を結成し、このチームを中心にまちねつと大口や町と話し合いながら活動を続けてきた。様々な取り組みをおこなってきたが、住民同士で情報が活発に行き交う状態とは言えないので、引き続き活動を継続し、発展させていきたい。

問 町内企業のトラックや通勤バス等にステッカーを貼ってもらえば、知名度アップや本町の魅力発信等に有効なのでは。

まちづくり部長 本町の魅力を知ってもらうためのステッカーを貼ることは、多くの方に大口町を知ってもらう大変有効な手法と考える。企業の協力を得て、進めていきたい。

問 第1期アクションプランの成果・反省等も踏まえ、第2期アクションプランの取り組みの方向性は。

まちづくり部長 第1期の活動を継続しつつ、第2期の戦略のもと、「おおぐち宣伝部」の皆さんやまちねつと大口とともに、住民や本町に開わりのある、特に町内企業にお勤めの方にも本町の魅力を発信していきたい。

使用済み小型二次電池の回収を

部長 準備ができ次第、回収を始めたい



回収に向けた準備が進められる小型二次電池の一例
(モバイルバッテリー)

問 二次電池単体の回収はしていないものの、現実的には使用済み小型家電として回収していることになるのでは。

産業建設部長 解体しなければ取り外し不可能なものは、やむを得ず使用済み小型家電の付属品として回収している現実がある。

問 昨今、自治体でも小型二次電池を回収する動きが広まりつつある。本町でも回収できないか。

産業建設部長 自治体でも池を回収する体制ができたので、準備が整い次第、まずはリサイクルセンターで回収を始めたい。その状況を確認しながら、地区での回収についても検討する。

令和元年度 視察研修 報告

議会運営委員会

民の関心が低く、動員を
かけないと人が増えない
状況とのことでした。

参加者を増やすには、
議会への関心をいかにし
て持ってもらうのかが課
題で、いずれにしても議
員の努力が必要であると
感じたところです。

○ 通年議会制

議会運営委員会が主体
となり、全議員で1月15
日から16日にかけて、島
根県安来市議会及び松江
市議会を訪問し、議会改
革をテーマに視察研修を
実施しました。

報告者

委員長 齊木二三

安来市議会

安来市議会では議会報
告会、通年議会導入の取
り組み、決算審査特別委
員会の常任委員会化につ
いて、研修及び意見交換
を行いました。

○ 議会報告会

平成23年より始められ
ましたが、本町同様、住

会議に臨む方式が採用さ
れています。予算委員会
で採決されたものが議会
の意思として反映されて
おり、大変参考になりま
した。

松江市議会

松江市議会では、議会
中継、議会の傍聴、一般
質問、政策連絡会、政策
研究会の設置等、議会改
革の取り組みの研修と意
見交換を行いました。

○ 議会中継

これは会期を1年とし、
議会の判断で必要に応じ
て会議を開ける制度で30
年11月から導入されてい
ます。検討段階では、拘
束時間の増加等の懸念も
あったようですが、導入
前とあまり変化はなかつ
たそうです。

導入されて日が浅く積
極的な運用がされていな
いようにも感じましたが、
新しい議会運営として参
考になりました。

○ 予算決算委員会

会期を前期と後期に分
け、前期は分科会に名称
を変えて審査を振り分け
出された意見は後期の全
体会議に諮り、委員長報
告を経て議案審査、自由
討議、採決まで行い、本

○ 一般質問

年間を通じて1人80分
の持ち時間があり、定例
会ごとの質問時間は1人
概ね30分以内という運営
がされているとのことだ
す。

○ 政策連絡会

大型プロジェクトや懸
念事項・主要課題の経過、
現況等の報告説明をする
場として、執行部と全議
員が出席して18年度から
開催されていたが、24年
度以降の開催はなく、現
在は市執行部が会派ごと
に調整を行っているとの
ことです。

○ 政策研究会の設置

松江市議会基本条例に
則り、24年に各会派から
選出の11人が、市が抱え
る課題等について議論し、
26年に市議会初の政策条
例「松江市自転車安全利
用条例」を制定されたと
のことです。また、30年
に国際文化観光都市をテ
ーマに検討を始めたこと
ろ、市長より松江市の文
化、歴史等について掘り
下げ、行政に反映してい

く「検討委員会」を提言
したい旨の話があり、政
策研究会から市長に対し
て提言書が提出されたた
のことです。

○ 議会報告会

年々参加者も少なくな
り、現在では、それぞれ
の所管事務に関連の深い
団体と意見交換を中心
に実施しているとのこと
でした。

○ まとめ

議会中継や議会報告会
の住民の関心のなさはど
この自治体でも同じ悩み
を抱えており、今後の課
題であると感じ、有意義
な意見交換ができ収穫の
多い視察でした。



松江市議会での研修の様子

まちの 元気者

祝・結成40周年

おめでとうございます!

～大口町婦人卓球クラブの皆さん～

今年、クラブの立ち上げから40周年を迎え、いつまでも若々しく元気に活動を続けてみえる、大口町婦人卓球クラブの皆さん取材しました。



♪続けてきて良かったことは

卓球を通して多くの人との出会いがあったことです。一番の楽しみは、練習や試合の後にみんなでおしゃべりをしながらランチ等でコミュニケーションを図ることです。和気あいあいとした時間を共にすることで、団結力も生まれます。



♪クラブの成り立ちは?

楽しく健康のためにと立ち上げたのがきっかけですが、技術面もお互いに競い合うことで上達し、各方面の大会でも好成績を収めています。

現在の会員数は35人で、立ち上げ当時から在籍してみえる方もいます。

♪練習はいつどこで?

毎週水曜日の午前9時30分から正午まで、中央公民館1階の集会室で行っています。興味のある方は見学にお越しください。

取材を終えて

取材当日は、クラブ内の大会が開かれており、会場内にはぎやかな声が響いていました。スポーツを通じて年齢関係なく仲間と感動を分かち合い、一生懸命に卓球に打ち込んでいる姿に元気を頂きました。

次は50周年を目指し、いつまでも元気に卓球を楽しんでください。(佐名かよ子)

表紙の写真

白い雲、青い空、桜に菜の花、五条川。来年は安心してお花見を楽しみたいですね

会議録が閲覧できます

<https://www.town.oguchi.lg.jp/2741.htm>



6月定例会予定

- 3日(水) 提案説明
- 8日(月) 一般質問
- 9日(火) 一般質問
- 11日(木) 質疑・委員会付託
- 15日(月) 総務建設常任委員会
- 18日(木) 文教福祉常任委員会
- 24日(水) 討論・採決

※開始時刻は午前9時30分から。
※日程・開始時刻は、変更になる場合があります。

6月定例会の傍聴について (※委員会を除く)

新型コロナウイルス感染予防のため傍聴をご遠慮いただく可能性があります。その際は、Youtubeの大口町議会公式チャンネルにて生中継を行います(町ホームページ⇒町議会⇒お知らせ)。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

今号は新型コロナウイルス感染予防により会議日程を変更したため発行が遅れています。

発行責任者
議長 倉知敏美
副議長 大竹伸一
委員長 船戸光夫
副委員長 佐名かよ子
委員 江口孝彦
岡本義彦

3月定例会 No.224
令和2年5月22日



発行/大口町議会 編集/議会広報常任委員会
〒480-0144 愛知県丹羽郡大口町下小口七丁目155番地
TEL (0587) 95-1702 (直通) FAX 95-1454
議会だよりは再生紙を使用しています。